環境ミニ知識

新聞、テレビ、ニュースなどで見聞きするけれど、あまり知らない「言葉」や「現象」について少し知ってもらえたらいいな！と、ミニ知識を紹介するコーナーです。

ZEH

かなり周知されて来たと思われていた ZEH について、触れてみたいと思います。
というのも、情報コーナー（サプリ村野２階）に来られる市民の方に「ZEH ってご存知ですか？」とお聞きすると、たいていの場合、聞いたことがないと答えられるからです。
ということで、今回は ZEH です。2017 年の会報誌秋号の環境トピックスのコーナーでも取り上げたことがありますが、ZEH とは Net Zero Energy House の略で、外側の高断熱化、及び高効率なエネルギー設備を備え、再生可能エネルギーにより年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの住宅のことを言うのです。

カーボン・ニュートラル

最近よく耳にすることのあるこの「カーボン・ニュートラル」という言葉。ご存知の方も多いかと思いますが、改めて意味を整理してみました。直訳すると「カーボン」は「炭素」、「ニュートラル」は「中立」を意味しますが、私たち市民の日常生活や企業の事業活動によってでてくる温室効果ガスの排出量を、その市民や企業が自然エネルギーの導入や植林などによって、削減・吸収されることにより、実質的に相殺され、温室効果ガスの収支が±0 になることを言います。カーボンオフとどう違うの?皆さんも調べてみてください。

ひとこと

3月になり、暖かな日と人の声が戻ってきました。こんなに“春”を待ち遠しく感じたのは、いつ以来だったでしょうか。

まだまだ静かな春ですが、サプリ村野の運動場から楽しそうな声が聞こえています。その向こうには、田畑が広がり、すぐそばの川原には菜の花が咲いていいます。時々聞こえる踏切の音もとても心地いい。ここには、とてもいい環境があります。毎日窓を眺めながら、こんなのどかな環境をずっと残していきたいと強く思います。

ひらかた環境ネットワーク会議 会報「環境ひらかた」第 69 号

令和３年４月１日発行（年４回発行）
発行：（特活）ひらかた環境ネットワーク会議

〒573-0042 大阪府枚方市村野西町５番１号
サプリ村野内（旧村野小学校）
電話　072-847-2286
FAX　072-807-7873
E メール　jimukyoku@hirakata-kankyou.net
ホームページ http://www.hirakata-kankyou.net
発行責任者：伊丹 均　　編集責任者：丸井 晶子

この発行誌は再生紙を使用しています

市民・事業者・行政が協働し 環境先進都市を実現する ひらかた環境ネットワーク会議 会報誌

NO. 69
春号
令和３年
（2021 年）

環境ひらかた

まぼろしに終わった エコフォーラム 2021

表彰式のみ行われました

昨年 4 月 6 日、コロナによる 1 度目の緊急事態宣言が発令されました。5 月 21 日には解除されましたが、今年度のエコフォーラムの開催は無理かと危ぶまれておりました。年末年始をまたぎ、感染者数が大幅に増加したことから、今年 1 月 7 日に 1 月 8 日から 2 月 7 日までとする 2 度目の緊急事態宣言が出されました。これにより 2 月 13 日に予定していた「エコフォーラム」の開催はいよいよ危なくなってきたところへ、大阪などで 3 月 7 日まで期間が延長され、今年の「エコフォーラム」は幻に終わりました。しかし、3 月 20 日に表彰式のみ市役所第二委員会室にて行われました。

市民環境表彰

プラごみダイエット生活アイデア表彰

緑のカーテン表彰

私たちのまちの電車・バスの写真募集表彰

（＊プライバシー保護のため一部の写真に修正を施しています）

＊＊＊＊＊目　次＊＊＊＊＊

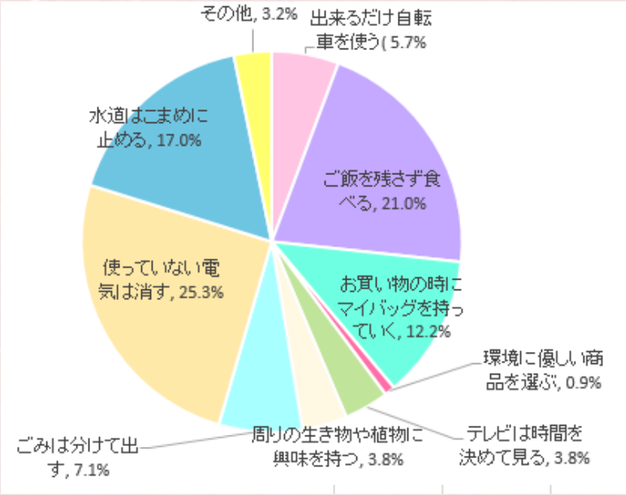
まぼろしに終わったエコフォーラム 2021	P 1
ひらかたみんなでエコ宣言結果報告	P 2
インターンシップを終えて	P 3
各部会報告	P 4・5
お知らせコーナー	P 6
環境トピックス　VOL. 35	P 7
環境ミニ知識	P 8

ひらかたみんなでエコ宣言　2020 年の結果は？

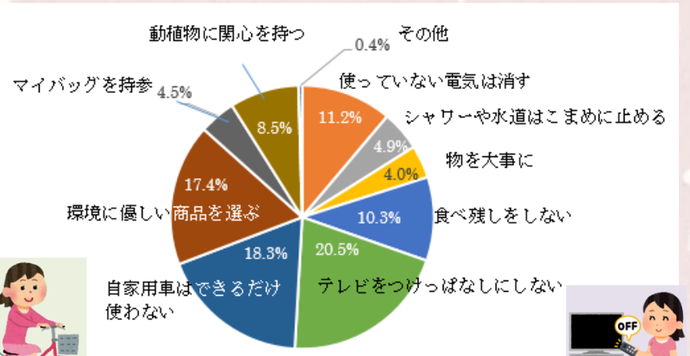
「ひらかたみんなでエコ宣言」も今回で 3 回目を数えます。今年度はコロナ禍の影響で参加者は少なかったとは言え、212 名の皆さんが参加してくれました。
一方、子供たちは夏休みの間に取り組むエコライフ行動を挙げ、それを「宣言」するという「ひらかたみんなのエコライフ通信簿」という自由課題に取り組んでくれました。
結果の一部をお知らせします。詳しい報告書は後日、枚方市の公共施設にて設置配布しますので、目にされたら手にとってご覧ください。

児童のみんなが選んだ「宣言」の上位 3 つは下のようになりました。

1．使っていない部屋の電気は消す
2．ご飯は残さず食べる
3．水道はこまめに止める



市民が選んだ上位 3 つの「宣言」と全体は下のようになりました。



1．TV は見たい番組の時だけつけ、つけっぱなしにしない
2．出かける時は近くなら歩いて、遠くならバスや電車を使い、自家用車は使わない
3．買い物をする時はリサイクル品など環境にやさしい商品を選ぶ

環境トピックス　Vol.35

私達を取り巻く環境は日々変化しています。最近の環境問題や、環境に関する事柄について「知ってほしい・知らせたい」情報などをこのコーナーで伝えていきます。今回は、「人工物量と生物量」「洋上風力発電」の問題です。

◆人工物量と生物量

私たちの周りには様々なものが溢れている。中には「本当にそれいるの？」というようなものもあるかもしれない。しかし多くの“もの”たちは、私たちの生活を支え、豊かに、そして便利にしてくれている。

しかしプラスチックや、コンクリート、アスファルトなど人間がつくり出したこれら“人工物”の重量が、植物や動物など“生物”の重量（1.1 兆トン）を上回ったというから驚きだ。先ほど報じられた英科学誌ネイチャーの研究チームの発表によると、20 世紀初頭の人工物量は生物量の 3%だったが、第 2 次世界大戦後都市開発などで人工物量が急増し、他方、森林伐採や、土地利用の変化などで生物の量は減少し、人工物量は現在も年 300 億トンずつ増えており、このままでは 2040 年には人工物量は生物量の 3 倍を超えるという。

脱炭素の視点からも、今一度ライフスタイルを真剣に見直すときではないだろうか。手遅れになるその前に。

◆洋上風力発電

世界の潮流が脱炭素社会へと動く中、日本のエネルギー政策は今どうなっているのだろう。昨年菅総理が「2050 年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする。すなわち 2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言した。

今年は 2050 年温室効果ガスゼロに向け、実質的な取り組みがスタートする年である。

政府はその実行計画で、エネルギーの電化を進め、再生可能エネルギーを最大限導入しその切り札として洋上風力発電の大型火力発電 45 基分の導入を打ち出した。毎年 100 万 kw ずつ増やし、2030 年に 1000 万 kw に、そして、2040 年には 3000 万から 4500 万 kw にまで引き上げる目標を打ち出した。しかし実現にはかなりの困難が伴う。だが、これぐらいしないと 2050 年の実質ゼロは到底達成できない。

政府の計画を進めるには、専門的な人材育成も不可欠であり、この点に関しても政府の具体的な計画が求められる。こうした状況を背景に、洋上発電先進国からの売り込み攻勢が起きている。いずれにしても、温暖化対策は待ったなしである。

部会活動紹介

ひらかた環境ネット会議では、それぞれテーマごとに部会を結成し、主体的に活動を行っています。

自然エネルギー部会

オンラインにて講演会を開催
再生可能エネルギー100％社会は可能か？
～地域からめざす 2050 年の脱炭素社会～

千葉大学教授　倉阪秀史氏

千葉大学教授　倉阪秀史氏を講師に迎え、オンラインにて講演会を開催しました。温暖化のメカニズムの説明から始まり、過去からの気候変化やティッピングポイント(臨界点・閾値：この場合、温室効果ガスの量がある一定の量＝閾値を超えると、爆発的に温暖化が進むと言われていますが、その臨界点を意味しています)などわかりやすく説明いただきました。続いて、２０５０年カーボンニュートラル社会の実現にむけての日本の今の状況、そして様々な角度からその実現の可能性をお話しいただきました。最後に、わがまち枚方における実現シミュレーションもして下さいました。

講演途中、そして講演が終わってからのたくさんの質問にも、全てに丁寧にお答えいただき、参加者の皆様にも満足していただけたと思います。

この講演会を聞き、脱炭素社会は十分実現できる！！　と確信できました。また、実現への方法もたくさん教えていただき、今後の私たちの活動の方向も見えてきました。
本当に素晴らしいお話を聞かせていただきました。参加者の皆様も熱心に聞いておられ、有意義な講演会となりました。

環境教育部会

“一人でも多くの児童に”そんな想いの出前授業

４月から新年度が始まります。私たちの行なっている環境出前授業は、体験や実験を授業の中に取り入れて、楽しみながら「環境問題」への興味や、気づきをねらいとしています。しかし、昨年はコロナ禍で、環境出前授業を安全に受講してもらう為、従来の、大勢で体験するソーラースクーターや自転車発電などでは無く、授業の中で物を共有しない、３密にしない、**見てもらう実験**を取り入れたメニューにて開催。又、従来のメニューも、出来る限り物の共有や３密を避ける様に内容を変更しました。

そして環境出前授業実施当日は、会報誌前号に記載したように、スタッフの検温も含めた体調管理表を作成し、学校側に提出出来る体制も整えました。その甲斐あってか、昨年後半からは徐々に環境出前授業の依頼も増えて来ました。

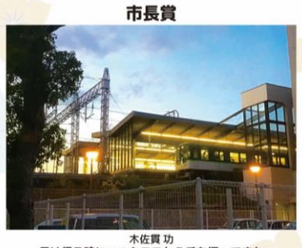
今年度もその流れを引き継いで、「コロナ対応」を念頭に、授業内容とその運用方法については、各学校の校長先生教頭先生とも良くご相談させていただいて、より多くの児童に環境出前授業を受けてもらえる様に頑張りたいと思います。そして、それが１人でも多くの児童にエネルギーや地球環境の事を知ってもらい、自分たちに出来ることは何があるのかと言う事を考え、行動していってもらえるきっかけ作りになれば良いな、と思っています。

見てもらう実験中
子どもたちは実験のようすに興味津々

公共交通部会

私たちのまちの暮らしを支えてくれている電車・バス。
それらの写真を募集したところ 96 人の方から 272 作品が寄せられました。審査の結果、各賞 10 作品と、佳作 8 作品が選ばれました。その中から 3 作品をご紹介します。また公共交通部会顧問　愛媛大学教授の松村暢彦先生からコメント(右)をいただいていますので併せてご紹介いたします。尚、HP には受賞作品 18 点がアップされていますのでそちらもご覧ください。

市長賞



木佐貫 功
母は帰る時にいつもココから手を振ってきた
もう 5 年ほど前に母は天国に行ったのですが、生前はよく幼稚園の私の家まで来てくれてました。帰りはいつも改札口で手を振って「サヨナラ～」としていたんですが、別れてからとぼとぼと帰り道を歩いていると携帯が鳴って見てみると母からの電話。「後ろ振り向いてみ！ここからイヅオの桜好、よぉ見えるわ！」振り返ると、大阪方面のホームの１番南端に母が手を振る姿が見えました。それからは毎回も一回は絶対サヨナラしてました。此処は何でもない外から見える、くずは駅のホームなんですが、私には最愛の母がよく立っていた思い出の大事な場所に一つになっています。
企画・展示　NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議・枚方市

ひらかた環境ネットワーク会議賞

米満 正一
香里ケ丘緑のトンネル
香里ケ丘へ越して来て 40 年になります。来た頃は桜通りも公孫樹通りもそしてけやき通りももっと枝が伸びてバスが通るたび揺れていました。今では団地自体が建て替えされてきれいに整備され、若い人も ふえてステキな街になっています。商業・公共施設も完備され子育てのしやすいお気に入りの街です。
企画・展示　NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議・枚方市

京阪バス賞

瀬野 ゆき
息子の指定席
京阪バスが大好きで、とにかく沢山のバスを見送りたい息子のために、バス停の前にあるカフェの席にほぼ毎日通った日々の写真です。そんな息子も今では4歳。見るより乗る方が好きになり、すっかりバスの乗り方もマスターしています。
企画・展示　NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議・枚方市

たくさんの方から枚方の公共交通をテーマとした印象深い写真をご応募いただき、誠にありがとうございました。それらの写真は単に美しいだけではなく、自分の懐かしい場面をありありと思い出させるから不思議です。　(中略)

それは、京阪電鉄や京阪バスが枚方の街の風景に溶け込み、私たちの生活の一部として機能してきたため、私たちの原風景として心に刻まれているのだと思います。

いま、新型コロナウイルスの感染拡大にともなって、公共交通は苦境にたたされています。このようなときだからこそ、身近な街に公共交通を使って出かけて、そのよさ、面白さを再発見していくことが必要だと私は思います。そうした行為が枚方の原風景を守っていくことに繋がります。次の世代のために、私たちがすべきことを考えて、実践していきましょう。

松村暢彦（愛媛大学　教授）

お知らせコーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせはひらかた環境ネット会議事務局までご連絡ください。　☎072-847-2286

◆◆◆エコキャップの回収報告◆◆◆

エコキャップの取り組みを通して、環境問題に関心を持ち行動するきっかけとなることを願っています

●エコキャップ　R３年２月１７日搬入分

重量：130kg　（取組開始からの累計　7,611.8 kg）

個数：55,900 個　（取組開始からの累計　3,273,074 個）

CO_2削減量：409.5 kg　取組開始からの累計 23,977.17 kg）

搬入したエコキャップは、再生プラスチック原料として換金され、公益社団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンに寄付され、全国で病気の子供とその家族が利用できる滞在施設の建設費及び運営に充てられます。詳しくは公益社団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンのＨ・Ｐをご覧ください。

★☆★リユースコーナーからのお知らせ★☆★

一昨年の６月に開設した「リユースコーナー」は、大変好評をいただいております。

５月から順次夏物へと棚も衣替えをします。取扱商品は、下記の通りです。

・子供服・子供用品
・おもちゃ・ぬいぐるみ等(電池式のものは取り扱っていません)
・絵本など子供用書籍・DVD

ご自身のお子様に、又お孫さんにご利用ください。

また周りの方にもご紹介ください。

総会のご案内

2021 年度通常総会下記の通り開催します。

日時：６月 ５日(土)　10：30～

場所：環境保全研修室(サプリ村野２ 階環境情報コーナー隣)

＊＊＊会員募集＊＊＊

「環境問題に興味はあるし、何かしたい、しなければ、と思ってはいるけれど・・・」というあなた。一度サプリ村野環境情報コーナーに来てみませんか？きっと何か見つかるはずです。お待ちしています。

新規会員募集中！一緒に活動しましょう。

インターンシップを終えて

環境ネットワーク会議では、協定を結んでいる関西外国語大学、龍谷大学の 2 校と、NPO 法人ドット ジェイピーからインターン生を受け入れています。
この春は、コロナ禍で大変な時期ではありましたが、各大学の春季休業に合わせ、今期もインターン生 5 名を受け入れました。イベント等がなかなかできないこの時期、学生たちは様々なことを学んだようです。
インターンシップを終えてということでご紹介します。

私は、「目上の方と積極的に関わる」ということを目標に今回のインターンシップに参加しました。丸井さんはとても親しみやすく、積極的に話すことができました。
また、企画書作りを通じて、誰にでも伝わる言葉選びの大切さと難しさ、さらに、このことは私たちが社会に出てからも必要であるということを学びました。
普段からしっかり言葉を選んで過ごそうと思えた点が小さな成長です。貴重な社会経験ができ、とても感謝しています！ありがとうございました！

同志社大学　一年
原田　洋樹

私は、大学と家が枚方市にあるので枚方の環境の情報について詳しくなりたくてインターンに参加しました。ひらかた環境ネットワーク会議が小学生から大人を対象とした環境啓発活動を行っていることを知りました。また、社会人としてのマナーや会議の進行方法、文章校正の仕方についても教えて頂きました。インターン生同士の話し合いの場面では、どんなアイデアを出しても仲間が肯定して受け入れくれたのでアイデアを言いやすかったです。ここで得た経験を生かして、今後社会で活躍できる大人になりたいです。

関西外国語大学　一年
大槻　琴美

私は、「人の意見に左右されることなく自分の意見を伝える」を目標にインターンシップに参加しました。課題の「環境の取り組みについての企画書を作る」ために他のインターン生と話し合いを重ねました。そうした中で自分の意見を人の意見に流されることなく伝えることができるようにはなりましたが、企画書作りの難しさを実感することになりました。これらの経験は、私が今後の生活で使える武器になると実感しています！色々なことを経験させてくださってありがとうございました！

関西学院大学　１年
福里　道瑠

このインターンには、聞き手に納得してもらえるような発信力を身に付けたいと参加しました。活動を通して、どのように伝えるとより理解されやすいかを、これまで以上に意識して発言するようになりました。また、情報コーナーに来られる年配の方々と交流することで、普段話す機会のない世代の方々とも気さくに話すことが出来たことは極めて貴重な経験でした。しかし環境問題についての情報を SNS で発信するという、予てからやりたかったことについては全く取り組めませんでした。
これらの経験を糧に、これからも環境問題をはじめ様々のことに取り組んでいきたいと思います

同志社大学　１年
大島　孝一朗

私は積極的に意見を言えるようになりたいと思いインターンシップに参加しました。
課題について、意見交換をする中で、少しずつ意見を言えるようになり、環境についての関心も高まりました。これからは温暖化などの環境問題に、できることはやっていこうと思います。また、言葉の大切さや会議の進め方など、大事なことをたくさん学びました。ここで学んだことを忘れず成長していきたいと思います。ありがとうございました。

神戸松蔭女子学園大学　一年
村井　美心